

食育・地産地消に関する施策の実施状況（令和元年度）

1 県民への食育推進

三世代が共に学ぶ食育の推進（家庭）

○世代間の交流を育む食育講座の推進

食育リーダーを講師とし、子ども・保護者・祖父母等の三世代と一緒に学び体験する食育講座を開催した。（26回）

（内容）

- ・食育紙芝居とおにぎり作り
- ・自分たちで育てた作物（じゃがいも）を三世代で調理する料理教室
- ・栄養バランスに対する保護者の意識改革のための講座 等

○遊びながら「食」を学べる体験の場の設置

エンゼルランドふくいで、紙芝居やクイズなどを対象に遊びながら「食」について学ぶことができる場を設置した。

- ・エンゼルランドふくい 令和2年2月 8日（土）～ 9日（日）

働く若い世代への食育の推進（企業）

○食育推進企業の登録推進

企業内で社員への食育に取り組む企業を「ふくいの食育推進企業」として登録した。
令和2年2月末日現在、18社が登録。

< 「ふくいの食育推進企業」登録要件 >

○県の進める「食育」に賛同し、次に掲げるいずれかの食育活動を進めていること。

- ・社員の健康を守る食育の推進
- ・社員への地産地消の推進
- ・家庭における食育を応援するための職場環境づくり
- ・食に関する体験の推進
- ・広告、冊子配布等による食育啓発の取組
- ・その他社員への食育・地産地消の推進と認められる取組み

○食育推進員を設置していること。



○「ふくいの食育推進企業」を通じた働く世代への食育推進

登録企業からの要望に合わせ、「ふくいの食育リーダー」を派遣。味噌づくり体験や、栄養学に基づいた食事メニューの選び方等について講座を行った。

○「ふくいの食育推進企業」登録証交付式および研修会の開催

1月31日（金）（「ふくいの食育リーダー」フォローアップ研修会と同時開催）

<内容>【登録証交付式】参加企業12社（登録企業：18社）

【講演】「味覚と嗜好のサイエンス～三世代と働く世代に伝えたい食育～」

講師：龍谷大学 農学部 食品栄養学科 教授 伏木 亨 氏

【事例紹介】「企業内での食育の推進について」

講師：坂川建設株式会社 総務部 経理部長 佐々木 紀邦 氏

意見交換 「働く世代への食育推進について」

農林水産業や食について学び体験する活動の推進（学校）

○生産者との交流による農林水産業体験の支援

小学生等を対象とした学校での農林水産業体験を行う市町に対して、体験に必要な費用を支援。

（ふくいの地場産学校給食推進事業（農業体験））

○学校における食育活動の推進

学校において地域の食材や食文化について学び実践する授業や、バランスの良い食生活について学び実践する授業等の実施を支援した。

（福井の「食」の未来を支える食育推進事業）

その他の取り組み

○食育・地産地消の取り組み展示

6月の食育月間、11月の「ふくい味の週間」に合わせ、県庁1階県民ホールにて、県および各市町の食育や地産地消に関する取り組みを紹介する展示を行った。

6月10日（月）～ 6月14日（金） 県庁ホール

11月11日（月）～11月15日（金） 県庁ホール

2 「ふくいの食育リーダー」の活動促進

地域に密着した食育や地産地消に係る専門的な課題に対応できる人材として育成した「ふくいの食育リーダー」（平成26年度～27年度の2年間：165名認定）の活動促進に向けて、新規事業を活用したPRやフォローアップ事業を実施した。

また、新規食育リーダー認定希望者を募集し、認定講習会を開催した。

○フォローアップ研修会の開催（新規認定講習会も兼ねる）

「ふくいの食育リーダー」の能力向上と活動促進につなげることを目的とした研修会を開催した。

1月31日（金）「ふくいの食育リーダー」フォローアップ研修会

＜内容＞【講演】「味覚と嗜好のサイエンス

～三世代と働く世代に伝えたい食育～

講師：龍谷大学 農学部 食品栄養学科 教授 伏木 亨 氏

【事例紹介】「企業内での食育の推進について」

講師：坂川建設株式会社 総務部 経理部長 佐々木 紀邦 氏

意見交換「三世代の食育を進めていくために」

「働く世代への食育推進について」

3 地場産学校給食の推進

○「ふくいの地場産学校給食推進事業」の実施

・「食育月間」および11月24日「和食の日」を中心とした日等における「地場産給食」の実施

4月 5日（金）市町教育委員会・農林担当課へ実施協力依頼（文書通知）

5月～ 食材の確保について、直売所等と生産者との調整を各地域で実施

6月～9月 本県の特産食材を使用した「ふくいの地場産学校給食」（第1回）の実施

・8月22日（木）県地場産学校給食推進会議の開催

＜対 象＞流通関係者（市場、JA）、

学校給食関係者（栄養教諭、保健体育課）、農林総合事務所

＜内 容＞主要農産物の県内流通推進について、地域での取り組みについて

・10月～ 食材の確保について、直売所等と生産者との調整を各地域で実施

・10月～12月 本県の特産食材を使用した「ふくいの地場産学校給食」（第2回）の実施

- ・ 11月25日（月） だしの特別授業の実施
 - <場 所>敦賀市立中郷小学校
 - <内 容>敦賀の昆布とだしの歴史
 - <テーマ>「だし」について知ろう
 - <講 師>（株）奥井海生堂 代表取締役 奥井 隆 氏
〔（一社）和食文化国民会議 理事〕
料理アドバイザー・栄養士 鴛田洋美 氏
- ・ 1月～2月 本県の特産食材を使用した「ふくい在地場産学校給食」（第3回）の実施
- ・ 2年2月18日（火）地場産学校給食地域コーディネーター交流会の開催
 - <内容>講演「学校給食に地場産物を取り入れるために
ー袋井市の取り組みより」
 - 話題提供 静岡県 袋井市教育委員会
おいしい給食課 おいしい給食係 石塚浩司 氏
グループディスカッション
「学校給食の地場産率向上のためにすべきことについて」

随時 地域別地場産給食推進会議の開催（各農林総合事務所別）

<対 象> 地域コーディネーター、流通関係者（市場、JA）、学校関係者、
農林総合事務所、

<内 容>地場産食材を用いた和食給食メニューの開発や使用率向上に
向けた対策について協議

○令和元年度地場産食材使用率（調査結果状況）

今年度より、調査対象を変更。

栄養教諭および学校栄養職員の本務校、共同調理場（給食センター等）とした。

調査対象校数 166校（11月は給食設備改修工事により1校減の165校）

<R元年度 年間合計>	地場産学校給食実施校数	166校（全校達成）
	地場産食材使用率（重量ベース）	40.5%
	地場産食材使用品目数	27.1品目
<R元年6月調査結果>	地場産学校給食実施校数	166校（全校達成）
	地場産食材使用率（重量ベース）	41.5%
	地場産食材使用品目数	26.8品目
<R元年11月調査結果>	地場産学校給食実施校数	165校（全校達成）
	地場産食材使用率（重量ベース）	39.4%
	地場産食材使用品目数	27.3品目

4 「福井のごはんを食べて強くなろう！運動」の推進

スポーツに取り組む福井の子ども達や県民が大会などにおいて、最高のパフォーマンスを発揮できるように、大切なエネルギー源となる「お米」や福井のおいしい食材で応援し盛り上げるとともに、「スポーツ栄養」を通じて食育・地産地消を推進した。

11月16日（土）・17日（日） 県産業会館で開催「ふくい農林水産 まるごとフェスタ」にて、来場の県民へ国体選手も利用した弁当として「福井の地産地消スポーツ弁当」をPR販売

5 「ふくい 味の週間」「ふくい農林水産 まるごとフェスタ」の実施

○「つなごう福井の食」による展開（10月～11月）

各市町で開催される食関連イベントと連携し、以下の事業を実施した。

- ・賛同する各地域のイベントを県HPで紹介

○「ふくい 味の週間」期間の取り組み

- ・「福井産食べて当てよう！キャンペーン」の実施

11月1日（金）～30日（土）

県内食品スーパーおよび直売所等において、福井県産の農林水産物、及び原材料が福井県産である加工食品のラベルを集めて県に応募すると、抽選で県特産品および協賛メーカー商品が当たるキャンペーンを実施。（マーク3点毎に1回応募。複数回応募可能）

- ・キャンペーン参加店舗数：129店舗
- ・キャンペーン応募総数：延671人
- ・協賛企業数：5社（「ふくい 味の週間」協賛企業）

また、キャンペーン期間に合わせて、福井県産の売り場が一目でわかるよう、県統一のぼりを設置した。

- ・県内量販店協賛フェアの実施

11月1日（金）～11月17日（日）

県内スーパー（ハニー、ヤスサキ、ハーツ各店）で、「ふくい 味の週間」コーナーを設置して、県産食材と食品企業商品を活用した「オリジナル地産地消レシピ」の提供と「福井産 食べて当てよう！キャンペーン」の実施。

- ・「福井産食べて当てよう！キャンペーン」のTVCMの実施（FBCテレビ）

11月1日（金）～17日（日）

- ・ハニー、ヤスサキ、ハーツそれぞれのバージョンで15秒のテレビCMを放映。

○セイコガニの食べ方授業

11月8日（金）～14日（木）

中学3年生を対象にセイコガニの食べ方を学ぶ授業を実施。

○「ふくい農林水産 まるごとフェスタ」の取組

11月16日（土）・17日（日） 県産業会館

- ・ふくいの食を支える農林水産業の今を体感するコーナー
（スマート農業、ふくいサーモン、ふくいのきのこ、自産自消コーナー他）
- ・ふくいポークのふるまい
- ・三ツ星若狭牛のふるまい
- ・食育体験コーナー
- ・県内農林漁業者や6次産業従事者等PRコーナー 他

○第13回全国高校生食育王選手権大会の取組み

- ・予選大会の実施

9月13日（金）、18日（水） 16:00～18:00

同一高校の3名1組のチームがインターネット上の予選サイトにアクセスし40問の食育クイズに回答する方式で、全10チームを選抜

→ 2日間で全国23都道府県300チームが参加

＜参考＞平成28年度実績：33都道府県 314チーム
平成29年度実績：37都道府県 320チーム
平成30年度実績：34都道府県 303チーム

- ・決勝大会の実施（県産業会館1号館「キッチンスタジアム」）

11月17日（日）10:00～16:00

＜競技1＞食に関するクイズ&技能テスト

＜競技2＞テーマに合わせた料理作り テーマ「地元食材を使った令和定食」

【結 果】

第13代食育王（石塚左玄賞）・農林水産省消費・安全局長賞

三重県立相可高等学校（チーム：相可高等学校まごの店）

＜本県からの決勝参加チーム＞

福井県立奥越明成高等学校（第3位）、福井県立若狭高等学校（優秀賞）

6 その他の取り組み

○福井県農産物直売所ネットワークの活動

- ・ふるさと知事ネットワーク直売所交流フェア

開催時期	開催場所	取扱い商品
2月	福井県内2直売所	4県の農産物を使った加工品等

- ・「ふくい農林水産 まるごとフェスタ」への出店（2店舗）
- ・ふくいの農産物直売所めぐりスタンプラリーの実施
10月1日（火）～31日（木）、19店舗
応募者の中から抽選で85名に福井県の特産品をプレゼント

○「ふくいの食育・地産地消ランチ」提供

ランチ名	提供場所	実施期間	概要
女子栄養大学 ランチ	議会食堂 あすわ	11月18日（月） ～11月22日（金）	県が「食と健康」に関する提携協定を結んでいる女子栄養大学の発行する「学食メニュー集（各年発行）」をもとに健康テーマを設定し、1週間分のランチメニュー（一汁三菜）を提供した。
仁愛大学 ランチ	県庁食堂	12月9日（月） ～12月13日（金）	健康管理と栄養指導のプロフェッショナルである管理栄養士の育成を行こなっている仁愛大学人間生活学部健康栄養学科の学生が考案した1週間分のランチメニュー（一汁三菜）を提供した。